

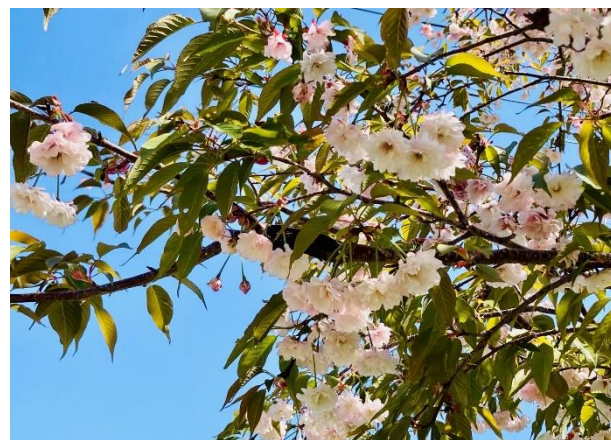
静岡分苑だより

2025 春号

われこそは富士の神山の守護神木の花姫よと厳かに宣らす

木の花姫静かにわれに宣らすやう祈る言葉は惟神霊幸倍坐世

『霧の海』 出口王仁三郎



静岡分苑コノハナザクラと富士山（左：2025年4月5日撮影、右：2025年4月12日撮影）



静岡分苑コノハナザクラと富士山
（2025年4月12日撮影）

（齋藤雅美・文）

今年も富士山このはなざくら観桜茶会をさせて頂きました。昨年より花が多く咲き、当日は、ご親教の際と同じく、恵みの雨に包まれました。室内から桜を愛でつつ美味しいお茶をいただくことができ、とても贅沢なひとときとなりました。教主さまより「続けていただいてありがとうございます。素晴らしい茶会ですね」との、たいへんありがたいお言葉を頂戴いたしました。来年も続けて行きたいですね！ご協力ありがとうございました。

第二回 このはなざくら

富士山観桜茶会に寄せて

信徒研修会 開催のお知らせ

- 開催日時 6月22日（日）
- 開催場所 静岡分苑
- 講師 特派宣伝使 前田茂太先生

詳細は後日お知らせします。多くの方のご参加お待ちしております。
（駒形康信・文）



今現在畑に植わっているのは、じやがいも、かぶ、大根、にんじん、枝豆、里芋です。
5月にさつまいもを植える予定です。
（柴田美樹）

★志太支部の柴田美樹さんが、分苑の東側の畑を手入れしてくださっています。ありがとうございます！



【編集後記】

おかげさまで、今年も無事に富士山このはなざくら観桜茶会を行うことが出来ました。本年も本尾先生に茶会の設営をご担当いただき、あわせて歴代教主さま方のお作品もご用意くださいました。中でも、野点傘に掛けられていた尊師さまの指頭文字のご神体は、尊師さまが神仙の人となられて以降の、数少ないご神体のひとつでした。「皆さまおかげを頂いてください」と、その心遣いに深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

令和7年4月30日

発行者 大本静岡分苑

〒421-3306 富士市中之郷小池下2353-1

谷田 新樹





春季大祭・観桜茶会 活動写真



直心会総会 報告

2月23(日)10時30分より直心会総会を開催致しました。
はじめに開催報告祭並びに病氣平癒祈願(7名)を行いました。祭員は4名で、この花帯にてご奉仕させていただきました。

【議事内容】

- ・各行事には多くの方のご参加をお願いします。
- ・直心会の会員が減少し収入があまり見込まれない状況にあります。そのため5月の献労交通費はみろく大祭に参拝された後のご奉仕になることから、会からの交通費補助をやめる事となりました。

11月は献労のみでのご奉仕となりますので、交通費補助は今まで通りお支払いします。

- ・分苑内でバザーをしてはどうかという提案がありました。
- ・食についての資料が欲しいと意見がありましたので、本部に問い合わせ中です。
- ・辞令交付(次年度無し)をしました。
- ・円座修繕は針と糸を用意して皆さんで行いました。持ち帰って修繕作業をしてくださる方もいました。

(直心会長 秋田昭子・文)



第27回東海サミット 報告

令和7年3月1日～2日に、愛知県のグリーンパレス春日井にて第27回東海サミットが開催されました。静岡分苑からは9名参加しました。

葬祭などにおいては、教区内で連携し助け合う体制が確認されました。一方で、後継者が育っていないことが大きな課題となっており、今後、どのように人材を育成していくかが喫緊の課題です。

(谷田新樹・文)

二絃の会(たかね会) 活動報告

令和7年3月23日に、四代宗家田中緒琴師 追悼演奏会が開催され、全国各地から181名が集まりました。そのうち静岡からは5名が参加させていただき、関東・東北・新潟のメンバーとともに「須賀川」と「高倉山」を奉納させて頂きました。

穏やかな春の日差しの中、なか白梅が咲き誇り、聖地天恩郷に八雲琴の音色が響きました。

(谷田阿井子・文)



祭式講習会 報告

麓優樹さん 高1
麓徹樹さん 中2
参加してくれました



3月30日に祭式講習会にご参加いただき誠に感謝いたします。
私としては特別な1日だったと思います。次回の祭員講習会はさらに多くの人が参加し、各段階での皆様が大きく成長することを願っています。令和7年今年は良いことが多くあるようにお互いを助け合い世界の平和を祈りましょう。ありがとうございました。

(祭務部長 尾山ハルオ・文)



瀬織津姫ご奉仕 報告

「瀬織津姫をさせていただいて」

まさか、私が瀬織津姫をさせて頂くとは思ってもみませんでした。無理だと思っていました。足が痛くて正座もままならない状態だったからです。でも、ある時にさせて頂けるならいい、お願いしました。2週間程前になると、急に足が軽くなるのを感じました。

年を越してからは、準備などに追われているうちに、あっという間に本番の日を迎えました。教主さまにご挨拶を申し上げ、香良洲神社さまのおみくじまでひかせて頂きました。

皆さんで楽しく準備をしていよいよ本番。帯をキチッと締めてもらって、身が引き締まりました。参拝する側だった私が、瀬織津姫としてお務めさせていただくことになるとは——。とにかく、この時間を最後までしっかりとお務めさせていただけるよう、神さまにお願いしました。足の痛さはもちろんありませんでしたが、周りの方々の気遣いに心が温かくなりました。幸いな事に寒さは厳しくなく、壺も無事に運べました。貴重な体験をさせて頂きました。しばらく経ってから、思いかえすと決して自分1人の力では成し得なかったのだと、しみじみ感じます。お気遣いいただいた分苑の皆さま、本当にありがとうございます。今後ともどうぞよろしく願っています。

(富士分所 川本千穂・文)



大本静岡分苑春季大祭

令和七年四月六日（日）

選者 大本楽天社 佐々木敏郎先生

集句二十八句 抜句二十句



冠沓句大会

第二回

佳調

富士 福本准平

駿河には富士のお山が守ってる

富士 駒形あかり

平調

人びとの暮らし見守る富士の山 志太 谷田新樹

仰ぎ見る木の花桜富士の山 志太 谷田阿井子

助け合い三保の松原祖母と共 志太 谷田さおり

後から木の花桜見守る富士の山 富士 小谷徳生

助け合い直会作り皆さんへ 富士 小谷いずみ

高々と孫肩登りつかむ星 富士 秋田昭子

見上ぐのみいまだ登らず富士の山 松風 田中文字

助け合い真心信徒大和合 安国 井村春子

分苑に向かって望む富士の山 安国 鈴木はるみ

助け合いわれよし心清まりぬ 安国 中島千春

秀調

高々と御旗掲げる神の家

安国 井村浩仁朗

学舎の窓は額縁富士の山

志太 谷田淳子

日々の水絶えず湛える富士の山

志太 原田まさ子

高々と御殿清しき教主様のりと

富士 駒形 香

高々と二代様の歌詠む月次祭

富士 齋藤雅美

駿河には木の花桜咲き誇る

三光明

人位 静岡 奥村智代

駿河には海山川の恵みあり

地位 安国 名古屋和泉

春の苑二代様の碑越しに富士の山

天位 安国 泉地邦浩

高々と叫ぶ和平は神の声